



熊本県立北稜高等学校

造園科

熊本県玉名市立願寺247

造園の廃棄物を利用したキノコ栽培に関する研究 ～循環型の環境創造を目指して～



【キノコ栽培で発生した廃培地を活用した用土作り】

造園は環境創造を目指した科目であり、特に樹木は樹体生理や審美性向上のため定期的な剪定が必要である。今回、私たちは、科目「総合実習」の授業で剪定や施工の際に発生する廃棄物の多さに着目した。造園は、環境の創造を行う一方で、剪定枝などの廃棄物の主な処分方法が焼却であることから対策の必要性を感じた。これまでの活動で剪定チップを活用したキノコの菌床栽培試験に成功し、資源活用の一歩を踏み出すことができたが、栽培後の廃培地が新たな廃棄物として生み出されている。そこで、今年度は、キノコ生産の効率化と廃培地用土の活用及び情報発信に取り組んだ。